



ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：早川 清人 副会長：伊藤 彰彦 幹事：松浦 正秋 副幹事：渡邊 芳隆

第1083回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 四つのテスト・花
- ソングリーダー 松浦 正秋君

■ 会長報告

早川 清人君

皆さん、こんにちは
 昨日は、韓国南西部、珍島沖合で旅客船が沈没し、修学旅行の高校生らが死亡、多数が行方不明担っている事故で、



韓国海洋警察と海軍は周辺海域で不明者の救助作業を行っているとの報道が、テレビ、新聞で大きく取り上げられていました。韓国政府発表によると死者9名、行方不明287名とのことです。また、本日の新聞朝刊の一面に、船長が乗客の救助にあらず、乗組員と真っ先に救助船で助け出されたとの情報もあり、問題視されているとの記事がありました。このような大惨事に遭遇され被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げるところであり、行方不明の方々の一刻も早い救出を願うばかりです。同時に、あらゆる集団での緊急時において、そのリーダーたる者の資質によって被害の大小が決定付けられるものだと痛感した次第でもあります。

翻って、本事故での対処に鑑み、組織のあり方という観点からロータリークラブを考えてみました。ロータリークラブは、事業者の集う組織であり、会員それぞれが、各事業所のリーダーであるわけですが、これら企業を襲う様々な緊急事態に対し、都度適切な対応が図れる資質の高いリーダーを育てているのが、ロータリークラブで培われる「超我の精神」なのだと改めて感じたところです。

さて、皆さんお待ちかねの日本神話を語りたいと思います。本日は、「三貴子」についてです。

「三貴子」とは、天照大御神、月読命、建速須佐之男命を云います。(以前お話した続きですが・・・) 黄泉国からようやく逃げおおせた伊邪那岐神は、筑紫の日向の橘の小門の阿波岐原(ツクシノヒムカノタチバナノオドノアワキハラ)という場所で禊ぎをしました。禊ぎとは、その身に罪又は穢れがあるときや、重要な神事を行う前などに、川や海で身体を洗い清めることです。伊邪那岐神は、禊ぎをするために、身に着けていたものを投げ捨てると、そこから次々に神々が生まれました。また、身体を洗いながらも多くの神々が生まれました。そして、禊ぎの最後に高貴な神が生まれました。左の目を洗うと天照大御神が、右目を洗うと月読命が、そして、鼻を洗ったときに建速須佐之男命が誕生したのです。これを喜んだ伊邪那岐神は、天照大御神に高天原、月読命には夜之食国を、そして、建速須佐之男命には海原をそれぞれ治めさせることにしました。

・・・と云うことで、続きはまた来週にさせていただきます。

■ 幹事報告

松浦 正秋君

- ・社会福祉法人ハルモニアより

「平成25年度 みんな仲間、集まれウェルフェア塾」実施報告書が届いております。

■ 出席報告

寺田 章君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
34/46 73.91%	43/46 93.48%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 伊藤恒君 ○植田君 ○桑原君 ○佐野裕君
- 樽井君 ○富澤静君 ○内藤君 ○中山君
- 望月君 ○渡辺哲君 川口君

(2) メークアップ者

富澤 静雄君 (静岡北) 渡辺 哲郎君 (静岡北)

■ スマイル B O X 寺田 章君

- ・誕生日プレゼントありがとうございます。実はこの1年間、自分の年を1つ多く間違っていましたので、これからの1年おまけをもらった気がします。 江崎直利君
- ・妻の誕生日プレゼント有難う。 朝比奈潔君
- ・4月15日渡邊リーダーを中心に一次会から二次会までの数時間、飲み食いを忘れ、真剣に議論することができました。たぶん!!

I G M 7 班

スマイル累計額 448,000円

■ 外部卓話

(株)松田商店 代表取締役
及び (有)真茶園 取締役
松田 真彦様



① 今回のテーマについて

「老舗の新ビジネス展開、商品開発の仕方等」

② 自社の職業紹介等

創業は江戸寛政年間、以来200余年経過、8代目当主。製茶問屋業(茶業界には、茶農家、製茶問屋、茶販売店の主として3つの伝統的な流通ルートがある) 当社は、まだまだ小商であり発展途上である。

③ 自己紹介、現職に至った経緯など

- ・大学の出身は、教育学部。卒業後は静岡県茶業試験場研修、翌年は宇治の抹茶問屋で一年修行の後、家業に就く。
- ・一番良かった点は「若くして社長業に就いたこと」(34歳)業界では異例。(持論…一番良い年代は30歳代。社内でも30代の社員に活躍の場をなるべく与えて育成している)
- ・業界役職には積極的。茶業青年団では、県と全国の団長を経験。茶審査技術では全国一位の実績。

④ 経営理念

「お茶づくり、人づくり」「日本茶の良さを伝えて行く」

実践としては、「全従業員が、茶資格取得の会社(日本茶インストラクター又はアドバイザー)」と「製造者は、茶審査技術で実績者」

⑤ 新しい取り組み～販路

製茶問屋業は「製造、卸し販路」が通例だが、平成9年より「通販」を開始。長い当社の歴史の中でも通販は、まだ17年しか経過していない。

平成22年10月には、「茶町本店」オープンして小売業に進出。

当社の販路強みは、中小企業ながら、通販と小売りのBtoC双方有する事。

⑥ 新しい取り組み～商品開発

茶製造販売業を核として、新たに高級抹茶を使用した菓子類を製造販売。

菓子類を始めた経緯…研修セミナーより一番売れているのは「抹茶どら焼き」ギフト需要が多い。

⑦ 今後の方向性

「製造直売(直販)」を主流にしながら、受け継いだ卸し業にも負けない努力を重ねて行きたい。直売(直販) = BtoCは、女性が活躍する場。



■ 今週の一言

小林 正敏君

【私の欲しいもの】

生来飽きっぽい性格の故何事に手を出しても長く続かない。ところが不思議なことにすでに30年も続けているのが何時までたっても下手くそなゴルフである。その昔(50年前) 中学時代の同級生が島田ゴルフ場でゴルフをやるというので一緒に歩くだけでも同行した。正月三が日というのにガラ空きで後半は道具を借りてハーフだけのお付き合いをした。確かアウトの6番のロングホールをパーで上が



ってしまった。それ以来ゴルなんぞバカバカしいと縁がなかった。

本格的な初デビューは藤枝クラブで御巢鷹山に飛行機事故(1985年)の翌日(8月13日)であった。ハーフを終わって北コースの2番で靴擦れも酷くダウンしてしまった苦い思い出がある。スコアがめちゃくちゃなのは言うまでもない。

以来中学時代の同級生とはよくプレーした。生涯に一度は彼らに勝ってみたいと思いつけていた。その内の一人は既に鬼籍の人となってしまうが葛城ゴルフ場のクラブチャンピオンを二度ほど取ったくらいのシングルプレーヤーだった。彼からはいろんな手ほどき頂いたが一向に不器用で上達しない。よく酒の席で「お前に負けたら俺はゴルフを辞める」と豪語していた。ところがイプス病に罹り3回ほど負けてしまった。潔くゴルフを止めてしまった。残る二人の内の一人は50代前半でゴルフを止めてしまった。残る一人は健康のためと精進を怠らない。彼よりも一度もスコアが良かったことは一度も無い。非常に不純な言い様になるが彼に勝つためには健康状態を維持し、彼よりも長くプレー出来れば勝機は巡ってくるであろう。

一言で言うなら「末永く健康でありたい」が私の願望である。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
4/25(金) 第1084回	会員卓話	私の職業 お役立ち情報
5/2(金) 第1085回	会員卓話	私の職業 お役立ち情報
5/9(金) 第1086回	早朝例会	
5/16(金) 第1087回	会員卓話	私の職業 お役立ち情報

(担当/内山君)